

# 鉄と鋼

Journal

Japan



## 主 要 目 次

超高電圧電顕法とそれによる新研究分野	853
石炭・水スラリー (CWM) の利用と課題	864
硬質磁性材料の最近の進歩	869
極低温高磁界中での金属材料の機械的特性	879
傾斜機能複合材料	887
高炉用炭素系レンガの強度特性とそのばらつき原因	894
誘導結合プラズマ発光分光法による溶銑中けい素の直接分析法 の開発	902
酸素上吹きによる高炭素溶鉄脱炭時のダスト生成機構	910
ステンレス鋼の連続着色技術の開発	918
各種被覆鋼材の海水中における耐久性	926
低炭素 Nb 鋼におけるオーステナイト域熱間加工時の NbC 析出モデルの開発	933
熱延薄鋼板の変態集合組織と塑性異方性	941
冷延鋼板の深絞り性におよぼす C と Cr, Si および P との組合せの影響	948
一方向凝固ニッケル基超合金の铸造性および高温強度の 方向依存性	956
Ni 基単結晶超耐熱合金のクリープ破断強度に及ぼす時効 処理条件の影響	964
1 Cr - 1 Mo - 1/2 V 铸鋼の長時間クリープ破断性質に影響 する金属学的因子	972
ボロン含有制御圧延鋼の強度・靱性におよぼす炭素量の影響	980
オーステナイト系ステンレス鋼の極低温における機械的性質 に及ぼす時効と Ni の影響	988
マルエージング鋼の遅れ破壊特性におよぼす Ni, Co, Mo, Ti および Al 含有量の影響	996
第 118 回 (秋季) 講演大会講演募集	N 193

NO. 75  
VOL. 75  
JUNE 1989

# 6

## 鉄鋼協会

and Steel Institute of Japan

Kaikan, 9-4, Otemachi-1-Chome  
Chiyodaku, Tokyo, Japan